

「笠原のたからもの」展関連企画 講演会

# 素晴らしい織部を見た！ — 妙土窯発掘の思い出にふれて —



笠原町では、日本の陶芸史を変える歴史的な発見がなされました。昭和49年に実施された笠原町向島にある妙土窯での発掘調査で、桃山時代の織部よりも古い、銅緑釉の遺物が出土し、脚光を浴びたのです。当時の調査に参加したのが、今、日本陶磁史の第一人者として知られる竹内順一先生です。調査の様子や陶磁史上の意義、桃山陶の特徴などを語っていただきます。

講師 竹内 順一 先生

日時 平成29年3月11日（土）午後1時30分～3時

会場 笠原中央公民館 3F会議室（多治見市笠原町2081-1）

参加費 無料 定員 100名

申込方法

下記メールまたはFAXにて、①お名前、②人数、③ご連絡先をお知らせください。

メール：info@mosaictile-museum.jp FAX：0572-43-5114

※竹内順一先生 略歴

1941年、神奈川県生まれ。1966年、東京芸術大学美術学部卒業（工芸史専攻）。五島美術館学芸部長、東京芸術大学大学美術館館長、茨城県陶芸美術館館長、松本市美術館館長、永青文庫館長を歴任し、現在は東京芸術大学名誉教授。専門は茶道美術史、陶磁史、美術館学。著書に『織部』（中央公論社『日本陶磁全集』第16巻）、『美術館へ行こう（やきものと触れあう 日本）』（共著 新潮社）などがある。

お問合せ先

多治見市モザイクタイルミュージアム（担当 村山）

住所 〒507-0901 多治見市笠原町2082-5

電話 0572-43-5101 FAX 0572-43-5114

URL <http://www.mosaictile-museum.jp>

※展覧会「笠原のたからもの～地域の文化と担い手たち」 平成29年1月4日（水）～4月16日（日）